夕刊 常磐毎日

発行所 平市田町75 常磐毎日新聞社 電話1210
編集兼印刷発行人 池田一夫

暴露されたデマ宣傳
墓穴を掘る關内の側近者

選挙戦の苛烈を加えるとともに各派の宣伝戦も露骨になつて来たがこれらの宣伝戦の中には、甚だしいデマ宣伝で有権者を迷わしているものがある、泣落し戦術すら代議士候補たるもののなすべき行為にあらずと批判されているとき、これら悪質極る謀略行為が平然と報道機関と結んで行われていることは有権者をグロウするも甚しい良識ある有権者は既に衆知りことと思うが、以下これら謀略宣伝の一端を記して公明選挙の一助ともしたい

◆最も甚しいものでは、過般「いわき民報」が誠しやかに報じた「蓮沼、馬目ら共倒り県議団は挙つて関内応援云々」であろう、これは本紙の報道と馬目県議、沢田県議が自ら高木候補応援の壇上に立ち、「いわき民報」のデマに迷わされるな、私は生命かけて高木のために応援する」と爆弾演説を行つたことで根底からひつくり返された

◆ところが彼らはこんどは馬目は両天ピンだと報じて馬目県議を非難することによつて自らの謀略を正当化しようとところみた、しかしこれも馬目県議が市内の高木候補個人演説会をくまなく廻り、私は終始高木以外の応援はしない、今回も選挙開始とともに関内候補の事務長小野県議にこの旨申入れてあると言明、これまた根底からひつくり返えされている

◆またこれに関連して同派の側近連は、馬目、蓮沼県議から小野県議にはつきり断つてあつたにも拘らず本紙既報のように従来使つたこともない蓮沼、馬目県議の名を関内推薦ハガキに勝手に刷り込み、後で木村守江氏を頼んで両氏の泣落しに来たと言う、甚しい破廉恥行為をあいてした

更にこの外、立会演説会で関内候補がヤジで立往生すれば、自らの不徳の致すところと知りながら、あえて高木派の計画だと宣伝してみたり、また過般行われた自由党吉田派の支部役員会では、「ウソの報道も上手にすべきだ」と言う下劣極りない申合せをするなどこれら関内候補をとりまく一連の側近者の行為は目に余るものがあるもちろん温厚な関内候補はこのような下劣なことは考えたこともないだろう、とり巻き連の仕業であることは人も知るところであるが、これら数人の取巻連の下劣な行為が、かえつて関内候補にわざわいしているようだ

この様に列記すると枚挙にいとまない程挙げられるが、これら一連のデマ宣伝を総合すると。同派の支部大会で「ウソの報道も上手にやれば良い」と相談したことなどから推察すると、明らかに蓮沼、馬目県議らが節を曲げて関内応援に走つたと言うウソを本当のように有権者に思い込ませて自派の勢力拡張を図つた関内側近の下劣な陰謀にほかならない、これがその時機を得ずしてうつかり響き立てたので良識ある有権者らに尻尾をツカマレてしまつたと言うわけであろう、「敵を落し入れようとして掘つた穴に自ら落ちてしまつたと言うところか」

珍無類の運動
反感買つた本部の宣伝車

同情と空涙の一天張りで選挙運動をやつている全国でも珍無類の候補者を応援のためか、自由党本部の宣伝カーがやつて来た、吉田単独内閣をめざすして……などと放送しているが、国民から不信任された吉田内閣が第一党たり得ない事は歴然としている、この宣伝カーのあとから候補者と選挙事務長とがノコリくく歩るいて、無言の戸別訪問をやつている、特に宣伝車は「地元候補の吉田派を……」と特定候補の運動したことは違反だとみられ、いくら同情しようとしても、このような恥さらし運動をするのでは同情もてないとまたしてもこの宣伝は市民の反感を買い、もの笑いのタネになつたのみ

豊田雅孝氏 全国参議に出馬

中央中小企業団体連盟会長、元商工次官豊田雅孝氏は全国参議院議員に立候補した、本県としては中小企業家に融資を受け密切な関係にあり、特に石炭協同販売組合では、あげて豊田氏の当選を期すべく猛運動を開始した

金融 誉洋勧業 本局側通り

であるようだ

★本社来訪

磐女校長として親しまれていた大楠秀冬校長は今回退職したので右挨拶のため十三日来社

夏井川漁業 權許可

夏井川漁業協同組合（組合長白井二郎氏）ではかねてから夏井川の漁業権を県知事に申請中のところこのほど「内共第二二号」の許可となつた

夏井川の上流から下流まで二十里、三町十五カ町村にわたる区域でしじみ、はや、あゆ（やまべ、いわな）こい、ます、うなぎの漁業をその一定期間中に行うことが出来るわけで、沿岸漁民は大喜び

これと共に同組合では今年から養魚も行い、夏井川漁業の発展を期する事になつた

なお右と同時に同組合員に入つていないものは漁業違反として処分されるので、早急に入会を組合側では希望している

輝く高木前代議士の功績 【9】
九面と小名濱港
山間部の開発にも

政治はわれわれの生活に直結せねば生きた政治とはいわれない。われらの一票が直ちに国のため地方のためになつて始めて、票の効力が発生する

単に同情や涙を流しているからと云うので投票しても、このような効力はない。効力ない一票は死に等しいもの、ドブに捨てるならば自己の権利を放棄したに過ぎない。此処においてわれらは仕事をしてくれる人々に投票することが最も必要である

九面海岸工事は、単に地元民らの要望許りではなかつた。県のはずれにあるためややもすれば放任され勝であつた。この工事のために高木前代議士は努力したそして九面港は近く完成されようとしている。漁業民らの喜びは一入ではない

しかるにこの工事に何ら関係のない関内元代議士が、地元で功績を述べていることはコツケイな話であつて、一流の横取り宣伝しているのみか、仕事をする人を悪口してるのは、自ら仕事をしないことを暴露するものであろう

高木前代議士はこのほか、田人、入遠野間の開拓道路問題についても完成のため尽力して工事に着手したほか、川前、川部の林道開拓のためにも奔走した。これらは何れも山間部から搬出する林産物の道路を完成し、石城地区の特産物を速やかに市場へ出す便宜が与えられた

山間部地方には政治の手は延びず、現在まで不便な山道を木炭その他背負うて市場へ来ていたものが、今度はトラックも交通出来るとあつて、特産品の木炭の搬出に非常な便利となつた、今秋の生産に役立つことはもちろんであろう

以上のほか小名浜築港問題がある重要港の小名浜でありながらも、現在まで根本的方策が不可能であつた

全国六十二の港のうち最も下位にある小名浜港をどうすればよいか、本年一月中旬に高木前代議士は折柄の寒風をついて港内をくまなくランチで視察し、技術者の説明を聴いて直ちに本省へ電報し予算及び工事上の打合せを行うなど、その熱心さには地元の人々は感激した

新潟、小名浜線の完成に伴つて、小名浜は重要な港となるが、その港から何一つ積出すものがないのでは話にならぬ。常磐から石炭及び常磐地区の重要な物資を積出すべく、まず輸送路の完成にも努めるなど、着々とその構想は進められてる。若し高木前代議士が落ちるような事があつたら、これら継続的な事業は実現不可能となる恐れがある。単に小名浜の問題許りでなく地方石城郡として挙つて高木を応援しているのも、これらの功績が輝いているものでなくて何んであろう （つづく）

4月10日→20日 桜まつり 主催 平市役所 平商工会議所

袋ものなら なんでも揃う
カバン 福山 平2丁目 T311

春のモード!!
★紳士服地
★婦人服地
新柄各種取揃いました 御注文御仕立迅速にいたします
服地専門店 マルエ 銀座 TEL 265

これはこれはと可愛がつて頂ける
皆様の小型タクシーは
株式会社 平和タクシー 電話平一九一一番
『旧名菊地タクシー』
又新車が入りました

たれにこがれて松ヶ岡
忍ぶあの娘れ
花がちるちる 紅の散る
お座敷改築 心地よい大広間
公園 電二二六

傳統と技術とサービスの店
おなじみ深い最中のマスコット 一口最中
三色の色調と三色の風味 三色最中
御菓子司 松月堂 平市銀座街 電二〇六

割烹 京ミツ豆 春の召上りもの!!
奈加や 平市左樋小路 電三九五
江戸前 お寿し 出前迅速

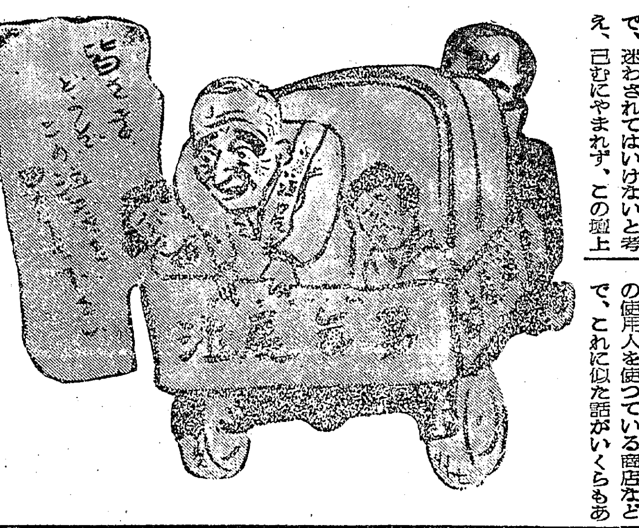
登録商標 じゃんがら 磐城銘菓

珍菓 名物 みかし 平市田町 電六九一番

畜犬一般診療
遠近に不拘往診いたします 御愛犬の飼育上の御相談に応じます
矢ヶ崎犬猫醫院 平市同鍛冶町 電（呼）一二七五番

夢のような父帰還
三丁目の高橋さんの歓び

十二日午后三時舞鶴援護局の入電によると興安丸は十五日未明舞鶴入港の予定だが平市関係者では三丁目越ノ屋料理店女中高橋登志子さん(三三)の夫七郎さん(三九)が帰つて来る、登志子さんは八年振りに夫と再会する喜びを涙を流しながら次の通り語つた「人に顔を見られるのはうれしいやら恥しやらでうれし涙も抑え切れません、夫とは満州から除隊して来た十八年の秋に結婚しました、それからまもなく軍属を志願し一家で渡満しましたが廿四年四月戦争が激しくなつたので、私と長女の佐智子(当時一才)を連れて帰つたまゝ別れ別れとなりました、夫の帰りを千秋の思いでまつていました、帰つたら一家で楽しい生活を再建したいと思います、迎えに出たいと思つています」



人氣を集めた 阿部(政)氏處女演説
分家と分党ごを説く

平商工会議所副会頭阿部政右エ門氏は、十一日市内才槌小路長谷川幸太郎氏宅に於ける高木松吉候補個人演説会に、応援弁士として登壇、未だかつてこの種の集会には出演したことのない同氏だけに、聴衆の人々に非常な感銘を与えた

「私は演説などと言うことはやつたことがない、これが生れて初めてのことなので、話も下手だし、要点もはずれるかも知れないが、どうしても今度の場合は高木先生のような立派な人に出て頂かなければこの困難な時局を乗り切れない、情実や甘言で、迷わされてはいけないと考え、已むにやまれず、この壇上に立つた次第です選挙の終るまでトツ弁ながら何回でもやります」

と前おきして、何故広川派が吉田総理とたもとを分つたか、どちらが真の政党のゆき方か、自由党本来の本家はどちらか等について、真情をもつて吐露

「民同派並びに広川派が分党するに至つた心情は、私達は立派にうなづける、いかに一家の長の言うことでも、それが我慢の出来ないひどい仕打であり、人情味のない冷めたい態度であれば、誰しもこれに反感を持つのが人情の常である、平市内の旧家や豪商の中にも、二、三十人の使用人を使つている商店などで、これに似た話がいくらもある、本町通りの某商店など二十年三十年勤めあげても、退職する時にノレンを分けてやらないだから随分古い商店だが未だに分店もなければ支店もなく、退職者は従つて商売かたきの側に廻つて、発展しない、また某豪商の前々代時代に、ひどく使用人たちを冷こくするので、真面目に勤めようとしても、主人に人情味がないので仕事に真剣味がなくなるばかりか、主人のスキをみては倉庫にもぐり込んで品物をこわしてしまつて売物にならなかつた、と言う話などもある、政治は生活とぴつたり結び合うところに、その味があり商売を上手にやることも、政治をうまく行うことも同じ理屈だ吉田首相が目に余る我まゝの放題なので、民同派や広川派の人達はアイソをつかして別れた、そのまゝでワンマンを黙認することは政治家としては罪悪でありとして決然おやぢに見切りをつけた、代議士は、吉田首相の使用人でなく、われわれの代表であるはずだ、その代表に向つて、いかに総理であろうと馬鹿野郎とか不ていの輩とかとば倒するのは、常識ある者の言うべきことではない、つまりわれわれが吉田個人から「馬鹿野郎」とば倒されたも同様である、吉田首相が人情味のある人だと、大野伴睦氏はどこかの演説会で言つていたが、之にはすくなからず私も驚いた未だかつて吉田さんが政権を担当して以来、一度も新聞やニュースに、そう言うが事が出ていなかつたからだ「ワンマン」とか「首相の水芸」など風刺して、ニュースカメラマンにコツプの水をひつかけたなど、我まゝ冷血漢と言う記事は、何回となく拝見しているが、人情の人だと言つたのは、大野伴睦氏が始めてであると思つて驚いた大野氏は前回の選挙には、鳩山氏の片腕とまで言われ、実際鳩山氏の直系の人で。前回の演説の時に

「私は吉田が総理である限り大臣にもならないし、要職にもつかない」

と大見得を切つた直後、衆院議長に就任するや、急転直下、「吉田さんは人情味の深い人だ」とふれ廻つて、鳩山親分をそでにして、吉田派に残留してしまつた、心ある、信念の代表なら民同派と一緒にワンマンに袂を分ち男らしくふんぎりをつけるべきであろう、分党と新聞では書いているが、鳩山派の方が本家である、自由党を作つたのが鳩山さんで、吉田さんはその後の人のはずだ、今更吉田派が本家のような顔をしていることがおかしい、この際ふんぎりがつかず、吉田派に残留した人達は選挙民の気げんをそこねては大変だと言うのが、自分の立場ばかり考えてふんぎりの出来ない生気地なしと言いたい、信念と実力があるなら、憲政の大道に決然立つて、態度もはつきりすべきである、その点高木候補は男らしくふんぎりをつけて、信を有権者に問うている立派な態度である、この決断力あつてこそ幾多の地方開発の事績を遺されたのだと思う、平市民である私が、双葉郡出身の高木候補を絶体支持している理由はこの点である」

と堂々三十分余に亘つて、高木候補こそ信頼するに足る立派な人であると推賞し、市民に多大な感銘を与えた

今夜の演説会 高木候補
★花沢久一郎氏宅(ゴマ沢)
★天 理 教(古鍛冶)
午后七時より

明日の立会演説会
田人小学校(午后一時)錦小学校(夜)

高木さんしつかり
激励の手紙や電報続々

高木松吉前代議士の功績の数々は今次総選挙に反映して、かくれた人々から激励の手紙や電報が、続々と選挙事務所に飛込み、候補者を感激させているが、そのうち主なるものを紹介すると次の通り

◇全国四十四カ所の霊山を廻つて来たという人は、そのお札を贈つて当選を祈願して来ましたから、御奮闘を願いますと激励して来た

◇戦前から小石川に武道場を作り、柔剣道を師範し、さらに日本少年団の指揮官、士官学校剣道教士として有名な奥山の仙人と称する人は、昭和二十年六月平市にそ開しているが、これまた激文を候補者の許え寄せた

◇女性の立場から申上げます、私は高木さんは何んとなく近寄れない人のように新聞の写真を見て感じていましたが、女性らのためにもいろ〳〵と御世話願つているという事実を知つて驚きました、今後とも女性のために御努力願いたいと思います(双葉の一婦人より)

◇地元の候補が有力なものであればこんなうれしい事はない、しかるに地元の候補者らしくないものはどんなひえきに見ても推すことは一つの政治的だ落である。 地元であろうとなかろうと正しい仕事をやる人物を推すことが、自覚した選挙民のあり方だと思う (平市一青年)

呼物の藝妓の踊り
十五日は花まつり

市内の松ケ岡公園、新川堤の桜は満開、十一日の土曜、十二日の日曜は職場に家庭に春の宴をまちあぐんでいた人々がドツト繰り出すものと予想されていたが、十一日の早朝から刻ならぬ寒波が襲来、それに雨も加えて折角の花見をオジヤンにしてしまつた、それでも社族、公族そして近郷から集つた家族連れで賑い、約一万の若者男女が春雨煙る桜の下で「トコネエちやん酒持つて来い」と元気な処を見せていた、また午后に入ると玉杯の酒を受けすぎ、あつちこつちに観桜の遺物が散らん、仕末におけないのは雨降る中の大道に大の字になつている腰抜け族の人々でこんなのがザツト三、四十名数えられた、 天気は十三日から回復するが寒さはここ三日位は続く見込で桜も十九日までは持つのではないかと見られ、十二日観桜会をやり損ねた御人にはチヨトうれしいような話だなお十四、十五日からは呼物の〃芸妓連の手踊りあり、十五日は花まつりと共に市内はお花見気分が最高潮に達するであろう

夜間営業
平商店街で

平市各商店界は、十日から催されている桜祭りで、夜の人出も相当多いとみて十一日から廿日まで夜間営業を申合せ、夜十時まで営業をすることとなつたが、常磐交通も近郊からの人出を緩和するため各バス線とも運転時間を延期サービスをしてお客の利便を計つている

痴漢三名検挙
少女二名に暴行

植田地区署では十三日、石城郡勿来町字久保田自称明大政経学部一年生川崎哲(二二)錦町赤津鼻羽化学工員(一八)の両名を婦女暴行現行犯で勿来町久保田農少年B(一八)を暴行未遂容疑で身柄と共に書類送検した、川崎ら三名は去る八日午后十一時ごろしめし合わせて山田村大字大村字林崎前地内を通行中の同地内農A子さん(一八)B子さん(一九)を無理矢理林の中に連れ込み川崎だけはA子さん(一八)を強かん、少年両名はB子さん(一九)を強かんしようとしたが抵こうが烈しかつたためセツプンしたり、いたずらした疑いによるもの

平養老院慰問
磐崎婦人会

磐崎村婦人会員三十余名は、十三日午後一時頃平養老園を訪問、土産物を贈つて老人達を慰問した

大谷石 五丁目電六六 井上

酒サロン あやめ

カメラと材料は… 飯田カメラ店 平市一丁目電一三六五

お花見の折詰は是非 開花 割烹 平市田町 電一二九

仕出し 割烹 湖畔

貸ふとん 新川町 スズキ 電四三

割烹 蒲焼 滋月 平電一〇七三

急募(女給さん) 若干名 本局前 小柳

産婦人科 平市向鎌田 松本医院

新しい技術でつくる 東京堂のパン 香りと味の良い 東京堂のパン 土産品の誇り 銘菓 たいら柚餅子 名物 さくら羊羹 製造本舗 合資会社ベーカリー 東京堂 電一二〇八 チエン店 平駅前売店 電一二一八 大丸百貨店 福島屋 電一五九九 湯本 福島屋 電一七〇

常磐炭礦の石炭 石炭は信用のある有名品がお徳です 火力の強い カラの少ない石炭 電37番237番へ 平市田町 常磐炭礦販売会社

春四月特売 三枚組100円 豪華一等400万円宝くじ
フランス風の三枚綴りは発行の都度恐しいほどの歓迎を受けて来たことは今なお記憶に生々しいところで四〇〇万円長者を十八名も作つています一〇〇万円が美しい夢なら四〇〇万円は華やかな夢ですほんの一寸した人生の偶然が昨日まで不幸だつた人を幸福にしてゆくこれが宝くじの希望であり使命でありますが一枚買つておこうかという気持が宝くじの持味です
日本勧業銀行平支店